

英 語 II R

科目責任者 廣 田 美 玲
 学年・学期 2 学年・ 通 年

I. 前 文

語学学習の目的は言語の習得に留まらない。言葉とその背景に潜む文化を理解する作業を通じ、自国文化を再認識することもその目的の1つである。外国語を学ぶことで日本語を見つめなおし、国語力を向上させることも期待できるであろう。

異文化との接触には多様な価値観への理解が求められる。そのためには幅広い知識が必要である。語学学習を通して受講者には豊かな教養を身につけてもらいたい。

II. 担当教員

助 教 柿 谷 丈 基本医学 語学・人文教育部門
 新 任 教 員

III. 一般学習目標

英文の背景にある文化を理解するよう努めながら英文読解の技能やプレゼンテーションスキルを向上させること。

IV. 学修の到達目標

- 1) 英文を正確に解釈するために必要な語彙と文法の知識を身につける。
- 2) 記述内容に関連した文化背景を理解する。
- 3) 外国文化との接触を通じて自国文化を再認識し、教養を高める。
- 4) プレゼンテーションの仕方を学ぶ

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
 2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
 6: その他 空欄: 該当なし)
 A クラス

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブラーニング
1	5	13	水	2	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
2	5	20	水	2			
3	5	27	水	2			
4	6	3	水	2			
5	6	10	水	2			
6	6	24	水	1	1学期テスト		
7	8	19	水	2	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
8	8	26	水	2			

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
9	9	2	水	2	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
10	9	9	水	2			
11	9	16	水	2			
12	9	30	水	2			
13	10	14	水	2			
14	10	21	水	1	2学期テスト		
15	11	4	水	2	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
16	11	11	水	2			
17	11	18	水	2			

Bクラス

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	5	13	水	1	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
2	5	20	水	1			
3	5	27	水	1			
4	6	3	水	1			
5	6	10	水	1			
6	6	24	水	1	1学期テスト		
7	8	19	水	1	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
8	8	26	水	1			
9	9	2	水	1			
10	9	9	水	1			
11	9	16	水	1			
12	9	30	水	1			
13	10	14	水	1			
14	10	21	水	1	2学期テスト		
15	11	4	水	1	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進度については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2
16	11	11	水	1			

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
17	11	18	水	1	テキストに沿って講義を展開する。 範囲・進捗については各担当教員が最初の講義で指示する。	柿 谷 丈 新 任 教 員	1, 2

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

定期試験（50%），小テスト（20%），課題や授業態度（30%）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

1) 教科書：授業で担当教員が指示する。

2) 図 譜：各種英和辞典。「ウィズダム英和辞典」（三省堂）,「ジーニアス英和辞典」（大修館書店）を推薦図書とする。

VIII. 質問への対応方法

講義時間中に受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	○
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

提出されたワークシートを評価したうえ，返却します。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載。なお，シラバス別冊に記載が無い場合，要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。